

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年8月22日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、宇内梨沙		
<p>検証テーマ： オープニング、対馬丸撃沈から76年、返却されたアイヌ遺骨6体埋葬          買収資金の現金に秋元議員の指紋、河野防衛相と在日米軍司令官が会談          中国外交トップと韓国高官が会談、ロシア野党指導者がドイツで治療へ          【特集】 国安法施行で揺れる香港の今、【特集】 東京五輪1年延期の影に選手村の問題が……</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪と京都は9日連続の猛暑日</li> <li>・関東各地で猛暑日</li> <li>・高知で雷雨の影響により交通機関に影響</li> <li>・オープニング</li> <li>・東京都の新たな感染者数</li> <li>・感染拡大の韓国が全国で対策強化</li> <li>・テニスの錦織圭船主が新型コロナの再検査で陽性</li> <li>・大阪市西成区で火災</li> <li>・対馬丸撃沈から76年</li> <li>・返却されたアイヌ遺骨6体埋葬</li> <li>・買収資金の現金に秋元議員の指紋</li> <li>・河野防衛相と在日米軍司令官が会談</li> <li>・中国外交トップが観光高官と会談</li> <li>・米国カリフォルニア州の山火事で5人死亡</li> <li>・ロシア野党指導者がドイツで治療へ</li> <li>・東京足立区でのエアコンがない部屋で高齢男女が死亡</li> <li>・世田谷区の路上でスポーツカー「コルベット」が炎上</li> <li>・【特集】 国安法施行で揺れる香港の今</li> <li>・【特集】 東京五輪1年延期の影に選手村の問題が……</li> <li>・スポーツ報道</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・オープニング：結論→特に問題なし</p> <p>番組冒頭で金平キャスターの「アメリカの大統領選挙が本格化しています。トランプ、バイデン両候補が思う存分お互いを批判しあっています。それを見ている国民の投票次第でチェンジが齎される。一強多弱の日本の政治ではお目にかかれない光景です。安倍政権、明後日、単独政権での連続在任期間を更新します。」とコメントしていた。</p> <p>このトピックについて当てられた時間は22秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</p>		

・対馬丸撃沈から 76 年：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「沖縄戦を前に、子どもたちを長崎県へ、長崎へと運んでいた疎開船、対馬丸が撃沈されて今日で 76 年です。沖縄では遺族らが鎮魂の祈りを捧げました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"ナレ「1944 年 8 月 22 日、沖縄を出て長崎に向かっていた疎開船対馬丸はアメリカ軍の魚雷攻撃を受けて沈没し、学童、784 人を含む 1484 人がなくなりました。那覇市では今日、慰霊祭が行われ、遺族や関係者 30 人ほどが参列して黙祷を捧げ犠牲者を悼みました。」

兄と姉を亡くした遺族「自分も戦後生まれだから戦争を知らないんですけども、それをどんどん次の世代に語り継いでかないといけないだろうな、という使命感はありますね。」

ナレ「参列者は犠牲者たちの無念に思いを寄せ、平和への誓いを新たにしている様子でした。」

このトピックについて当てられた時間は 64 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・返却されたアイヌ遺骨 6 体埋葬：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「かつて東京大学が研究目的で持ち出したアイヌの人たちの遺骨が、ふるさと北海道村保呂町のアイヌ民族のもとに返され、今日、埋葬されました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したよう

"ナレ「返還されたアイヌの人の遺骨 6 体は、東京大学が明治から昭和にかけて研究目的で墓地から持ち出し保管していたものです。浦幌町のアイヌ民族の団体と東大との民事裁判は今日 7 日に和解が成立し、返還された先祖の遺骨は今日、ふるさとの墓地に埋葬されました。」

差間正樹（ラポロアイヌネイション（旧浦幌アイヌ協会）名誉会長）「本当に今まで待たせて申し訳ないという気持ちと、やっとこれで先祖を地元の土に還すことができたという安堵の思いでいっぱいです。」

ナレ「これで各地の大学が博物館が浦幌町から持ち出したことがわかっている遺骨 103 体は全て返還されたこととなります。」

このトピックについて当てられた時間は 67 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・買収資金の現金に秋元議員の指紋：結論→特に問題なし

ナレーションによって「カジノ汚職事件をめぐり承認買収の疑いで逮捕された衆院議員の秋元司の指紋が贈賄側への買収に使われたと見られる札束から検出されたことが関係者の取材でわかりました。秋元議員は買収資金のうち 1000 万円を用意した疑いがあり事件の関係先で押収した現金を鑑定したところ、秋元議員の指紋が検出されたということです。東京地検特捜部は秋元議員が買収工作を主導したことを裏付ける証拠と見ています。一方、秋元議員は逮捕前の取材に買収事件への関与を否定しています。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・河野防衛相と在日米軍司令官が会談：結論→特に問題なし

ナレーションによって「河野防衛大臣は今日午後、東京都内にある在日アメリカ軍横田基地でシュナイダー司令官と会談しました。会談では河野大臣から地上配備型ミサイル迎撃システムイージスアショアの配備断念について説明した上で、北朝鮮の弾道ミサイルの脅威に対応するため、アショアに変わる新たなミサイル防衛の構築に向けて日米でしっかり連携していくことを確認しました。また、在日アメリカ軍の基地内で感染が広がっている新型コロナウイルスの対応についても互いに助け合っていくことで一致をしました。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 36 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・中国外交トップと韓国高官が会談：結論→特に問題なし

ナレ「中国の外交トップ、楊潔篪共産党政治局員はきょう韓国南部の釜山で徐薫国家安保室長と会談しました。韓国の発表によりますと会談では韓国が年内の実現を目指す習近平国家主席の訪韓を早期に成功させることで合意した他、今年予定されている日中韓首脳会談についても協議、また対立が深まる米中関係について徐室長が米中の友好関係が重要だと主張したのに対し、楊氏は中国の立場を説明、会談後、良い対話をした、と述べるに留まりました。」

このトピックについて当てられた時間は 44 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ロシア野党指導者がドイツで治療へ：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「意識不明となり、毒をもらったとの見方が出ているロシアの野党勢力指導者ナワリヌイ氏が治療のため、ドイツに入国しました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「これはナワリヌイ氏が 20 日意識不明となる直前の様子を空港の監視カメラが捉えた映像です。ここで飲んだ紅茶に毒が盛られていたとの見方が出ている、このあとモスクワに向かう航空機内で倒れました。乗客撮影の映像にはナワリヌイ氏のものと思われるうめき声も。」

ーナワリヌイ氏のうめき声ー

ナレ「妻らがドイツでの治療を希望し、ナワリヌイ氏はきょうベルリンに到着しました。当初、ロシアの医師たちはドイツでの治療を拒否し、妻が体内から化学物質が亡くなるまでの時間稼ぎだと反発した経緯があり、今後、意識不明の原因がどの程度明らかになるのか注目されます。」

このトピックについて当てられた時間は 61 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】 国安法施行で揺れる香港の今：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「特集は国家安全維持法に揺れる香港です。」および日下部キャスターの「香港警察は先週、民主活動家の周庭さんら 10 人を一斉に逮捕しました。今回の逮捕劇最大のターゲットだった香港紙アップルデーリー創業者の黎智英さんが保釈後、初めて日本メディアの取材に応じました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような特集の VTR が取り上げられていた。

"日下部正樹「夜になってもですね、うだるような暑さが続いているんですけども、ここ国会前にはですね、香港の民主運動を支持する人たちがこうやってそうですね、今二百人近くいるんじゃないでしょうか。」

ナレ「香港からの留学生何嘉軒さん。スローガンが書かれた旗を掲げている。」

日下部正樹「今、香港でこの旗を掲げることはできますか。」

何嘉軒（香港からの留学生）「できません、それだけで国家安全維持法により逮捕されてしまいます、外国にいたる私はより安全な場所にいるためやっぱり世界に向けて発信する香港人が必要と思ひまして。」

"ナレ「この二日前、民主活動家の周庭さんを始め、10 人が香港警察に逮捕された、容疑は 6 月末に施行されたばかりに国家安全維持法違反、およそ 24 時間後に釈放された周庭さんは。」

周庭「今回は一番怖かったし、一番きつかった。この国家安全法はまさに政治的な弾圧をするために利用したものじゃないかなと思ひます。」

ナレ「日本に来て三年目の何さんは都内にある大学で観光経営を学んでいる。

何嘉軒「元々日本に旅行することが大好きで北海道とか吸収とかいろいろなところにまわって、面白い観光地を発

見して、計画して、そういう仕事がしたいですね。」

ナレ「日本で香港の自由と民主化を訴える活動をしているが、香港にいる家族には伝えていないという。」

何嘉軒「家族には迷惑かけたくないからこっちの行動には何も言っていない、まあ友だちはいつもどおりに情報を交換したり、香港の現地は圧倒的に絶望感がすごいですね。」

"ナレ「この二日前、民主活動家の周庭さんを始め、10人が香港警察に逮捕された、容疑は6月末に施行されたばかりに国家安全維持法違反、およそ24時間後に釈放された周庭さんは。」

周庭「今回は一番怖かったし、一番きつかった。この国家安全法はまさに政治的な弾圧をするために利用したものじゃないかなと思います。」

ナレ「日本に来て三年目の何さんは都内にある大学で観光経営を学んでいる。

何嘉軒「元々日本に旅行することが大好きで北海道とか吸収とかいろんなところにまわって、面白い観光地を発見して、計画して、そういう仕事がしたいです。」

ナレ「日曜日に新宿でデモを行う予定の何さん、一昨日、その下見に訪れた。去年、香港では人と人が手を繋ぐ人間の鎖で抗議をしました。今回は新型コロナの感染予防のため、メッセージカードを掲げた紐を持つことにした。」

日下部正樹「もしかしたらみんな、香港には戻れないかもしれないという覚悟を。」

何嘉軒「そうですね、覚悟した上にまあ活動しています。日本国だけじゃなくて、世界の危機だと思っています。でも、ここで力を合わせて食い止めないと、もっとひどい事情になってしまうからここで食い止めたいです。」

"ナレ「香港では報道機関への家宅捜索まで行われた、そのアップルデイリーの黎智英氏が保釈後、初めて日本メディアのインタビューに応じた。」

黎智英「私は中国に移送されてしまう可能性もあった。」

(CM)

"ナレ「今月10日、香港で前代未聞の事件が起きた。中国共産党に批判的な論調で知られる香港紙、アップルデイリー。その本社に200人もの警察官が家宅捜索に入ったのだ。」

警官「国家安全法に従った捜査だ。」

ナレ「次々と職場から追い出されるスタッフたち。」

記者「押すなよ、職場はどこまで使っているんだよ。」

警察「何度も言ってるだろ、仕事のじゃまをするな。これ以上邪魔をするなら逮捕するぞ、ここは封鎖だ、封鎖。」

ナレ「当局の大掛かりな捜索、最大のターゲットはアップルデイリーの創業者、黎智英氏だ、逮捕された黎氏は手錠をかけられ社員の前を連行された。」

記者「今回の警察の行動は報道の自由を侵害していると思いませんか。」

黎智英「間違いなく侵害しているよ。」

"ナレ「拘束はおおよそ40時間続いた。その後、黎氏は700万円もの保釈金を紗來外に出ることはできたが、パスポートは没収された。保釈後初めて黎氏が日本メディアの取材に応じた。」

黎智英「今夏はとても厳重な逮捕です。国家安全法というとても恐ろしい法律で逮捕されたからです、中国本土に移送された可能性もありました。もしかしたら裁判は中国本土で行われる可能性もあります。そのようなことは考えないようにしています。精神的に参ってしまいますから。やるべきことをやって、時が来たら受け入れるだけです。」

日下部正樹「今回の件です、恐怖というか不安を思ったんじゃないでしょうか。」

黎智英「香港はもう私たちが知る香港ではない。自由な場所でみんなが自分の好きなことをできて、自分の意見

を言える香港ではなくなってしまった。」

ナレ「黎氏は 12 歳の時に中国本土から密航して香港に逃れ、カジュアル衣料ブランド『ジョルダーノ』を創業し、成功を収めた実業家だ。黎氏の天気となったのは 1989 年の天安門事件、民主化運動を支持する T シャツを作るなど政治活動への参加をきっかけにアップルデイリーを創業した。」 "

"黎智英「アップルデイリーは相関初日から雑誌も含め民主と自由を追求し続けています。この立場はずっとかわっていません、この立場で私自身が苦しめられていますが。」

ナレ「今回の捜索で警察は記事に関することは捜査しないとしたが、捜査員は次々と取材資料を調べていく。」

記者「おい、さわるなよ、どこまで操作するんだ。」

ナレ「捜査の内容について問いただしたが。」

アップルデイリー法務担当者「黎氏のオフィスのあるエリアで何をしているか聞きましたが、先程の方では質問に答えられないと、彼らは今、自分が何を目的に捜索しているかもよく分かっていないみたいなんです。」

記者「あなた達は捜索令状を見せていない。司法審査にかけますよ。」

警察「裁判所から令状は出ています。だから実行するだけです。」

記者「令状は令状で、私たちにも法的権利はあるでしょう。」

ナレ「5 時間にも及ぶ家宅捜索の末、警察は 30 箱分を資料を押収、さらに、職員全員の個人情報も調べたという。アップルデイリーへのこうした対応に黎氏は。」

黎智英「これはある種意思表示で全てのメディアに対する脅迫だと思います。香港のメディアを中国鏡佐藤の意のままに動かそうとしているのでしょうか。」

ナレ「黎氏は香港の報道の自由は既に失われつつあったと語る。」

黎智英「多くのメディアのオーナーは中国本土で事業をしていて、利益を得ているから事業と中国への関心を捨てることができません。ですから、メディアの中でもその意向を示さなければいけない、ひどい場合は中国共産党の代弁者にもなります。そうやって事業で高待遇受けているのです。」 "

"ナレ「黎氏の逮捕翌日、中国共産党系の新聞、大公報にはこんな見出しが踊った。」

大公報見出し「喜ばしい快挙、黎智英ら 10 人逮捕、香港を混沌とさせた悪党の逮捕で街中が歓喜。市民たち、今宵は宴だ。」

ナレ「一方、アップルデイリーは紙面で言論弾圧と戦うという覚悟を示した。」

アップルデイリー「リンゴは必ず耐えきってみせる。」

ナレ「通常、7 万部の発行部数だがこの日はおよそ 55 万部が印刷されたという、意見広告という形でも支援が相次いだ。広告紙面を埋め尽くしたのはまちなかにはられていわゆるレノンウォールを模した市民のメッセージだ。」

市民のメッセージ A「リンゴを応援、自由はお金で買えない宝物」

市民のメッセージ B「ペンは剣よりも強し、正義は言葉で実践する。」

ナレ「そしてこんな公告も登場した、一見すると普通の漢詩だが斜めに読むと。」

市民のメッセージ C「黎智英と周庭は懼れない。」

ナレ「さらに、こんな動きも。香港公共放送で返還前の 1989 年から放送されてきた社会風刺番組、頭條新聞。今年 5 月、当局から警察を侮辱中傷しているとして事実上打ち切りを要請され、番組は終了した、ところが二ヶ月たった今月。頭條動新聞。公共放送で打ち切りになった番組がアップルデイリーで息を吹き返したのです。」

頭條動新聞「最初のニュースです政府は 7 月 29 日に外食を禁止しました。屋外での飲食もできません。集会も禁じられ、全てあの女性長官が下した命令です。黎智英氏の逮捕撃も皮肉たっぷりに扱った。」

頭條動新聞（電話）「社長はもう保釈されてるよ。」

頭條動新聞（社員役）「嘘だろ、政府ご指名の犯罪者だぞ。会社は封鎖されたんじゃないの、社長が逮捕されたから今週仕事をしなくていいと思って、台本を書いていないよ。」

頭條動新聞（社員役）「おーい無事ですか。」

頭條動新聞（黎智英）「OK！無事だよ。」

頭條動新聞（社員役）「黎さんではなく持ち物が無事か聞いたんですよ。捜索中に麻雀卓が盗まれたことがあるんです。」

頭條動新聞（黎智英）「失ったものは何もないばかりか購読者が増えたぞ。」

頭條動新聞（社員役）「本当ですか。」

頭條動新聞（黎智英）「ああ本当だ。」 "

"ナレ「出演者の曾志豪さんに今日本の視聴者に伝えたいことを聞いた。」

曾志豪「アップルデイリーや市民が頭條新聞の復活を願っていたので、みんな新たに頭條動新聞である風刺の伝統を残したいと思ったのです。い今は香港人が国際的な呼びかけをすることあとても危険なことです。私たちはただ、日本の皆さんに香港への関心を持ち続けてほしいのです。自由がある国で支え合うことが大切です。」 "

"ナレ「しかし、こうした動きに林鄭長官は」

（CM）

"ナレ「今週火曜、香港政府トップの林鄭月娥長官は民主派の声を一蹴した。」

林鄭月娥（行政長官）「どの国でも国家の安全は最重要事項です。国際的な人権組織が言論の自由などを守るため尽力していますが自由と権利は制限されることもあります。国家の安全を守るために法によって規制されるのです。」

ナレ「それは国家の枠組みから自由だった香港が完全に中国に組み込まれたことを意味する。香港研究の第一人者である倉田徹教授、新聞の広告にも変化が現れている、と話す。去年6月の最大手の親中派新聞では。」 "

"倉田徹（立教大学教授）「こちら明けてみますと、ここが全面広告ですね、マンションの広告ですね。」

ナレ「様々な業界の広告が溢れている。一方、アップルデイリーの紙面は。ほとんど広告が載っていない。」

倉田徹「企業がここに広告を載せることを怖がっている、つまりアップルデイリーに広告を載せるような会社というのは中国に逆らう気なのか、香港政府に歯向かう気なのか、そういうふうに見られてしまう。」

ナレ「香港から発信される様々な情報は中国の内幕を暴いてきた。これは1997年、アップルデイリーがスクープした中国の最高指導者、鄧小平氏の生前最後の姿と言われる写真だ。中国が鄧小平氏の晩年の状況をひた隠しにする中で世界に大きな衝撃を与えた、玉石混交とは言え、こうした情報を次ルギと発信してきた香港メディア、それは香港情報と呼ばれ世界中のチャイナウォッチャーが注目してきた。」 "

"日下部正樹「いわゆる香港情報、これを失うことって非常に僕は世界にとっても損失だと思うんですけどもいかがでしょうか。」

倉田徹「そうですね。特にやはり香港というのはまあ中国の情報のセンターであるわけですね、様々な情報の存在自体が世界を見る上でも大きなヒントになってきた場所ですので、そういったように非常に独特な地位を得た、ある種の公共財としての香港、これが亡くなってしまうというのが非常に大きな問題じゃないかと思います。」 "

"ナレ「その香港情報を発信して来た側の黎氏は。」

黎智英「国際社会やメディアは香港を通じて中国の情報を入手していましたが、今はより難しくなりました、しかしまだ少しだけは入手できます。アップルデイリーの英語版を見れば今も中国本土のニュースがあります。」

ナレ「香港社会はまだ希望を失っていない、と黎氏は言う。保釈された時市民がアップルデイリーの紙面を掲げて出迎えた。会社の株を購入する動きも広がった。アップルデイリー本社でも、」

従業員「ボス、歓迎しますよ。」

ナレ「常に戦う姿勢を崩さない黎氏もこのときばかりは表情が崩れた。」

黎智英「記者たちもかなり危うい状況に立ち向かっています。私は彼らのこう伝えています、仕事をする時は自分の身の安全のことを考えなさい、そして『あなたは誰かの意思に従って行動する必要花、自分のやりたいことをすればよい。』と、ただ私に彼らを守る力はありません。」

日下部正樹「これまでしたことに対して後悔したことってありますか。」

黎智英「いいえ、後悔したことは甘船、人生に二度目があっても私は同じ道を歩むでしょう、なぜならこれが私の役目だから、これが私の運命なのだから。」 "

(CM)

特集の VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

膳場貴子「あの香港で当局によって報道の自由に圧力をかけられたということにショックを受けるんですけども、そもそものアップルデイリーというのは香港ではどういう存在なんですか。」

日下部正樹「1995 年、私ちょうど香港に駐在していたんですけども、その時、創刊されたんでよく覚えているんですけども、とにかく当初は目立つことに徹していましたね。紙面をカラー化して、派手な見出し着けてスキャンダル記事満載でしたね。実はですね、中国による香港のメディア工作っていうのは変換前からどんどん進んでいて、返還後は一変して中国を礼賛するような新聞が増えました、そして最近に至ってはですね、高級紙と言われる新聞でさえですね、中国に付度するような記事を書いているんですね、とにかく北京にはっきり物申すのはアップルデイリーだけということで、中国にとっては非常に目障りな存在だったんですね。」

金平茂紀「見ててね、これはあの他所の国の他人事ではないな、と、まあ要するに僕ら日本のメディアにも突き付けられている問題だな、というふうに思いましたですね、風刺のちから、デイリー、アップルデイリーが持っているものはすごいですよ、今年ね、奇しくも戦後 75 年で、75 年前っていうのは香港は日本の軍部の占領下にあったわけですよ、で当時、日本軍によって香港の言論活動というのは厳しくまあ検閲統制されていたわけで、それと同じようなことを今、北京政府が香港のメディアに対してやっているというのはいかにも歴史の皮肉ということをですね、感じましたですね。」

日下部正樹「私はですね、香港を香港たらしめていたのは国家という枠組みから自由だったこと、これが大きいと思うんですね、ですから中国だけでなく各国の情報戦の場となって、それが香港情報として発信されてきたんです、ただ林鄭長官の最近の口ぶりはまるで北京のですね当局者みたいになってきて、とにかく国家優先、まあ黎智英さんも保釈されたとは言え、今後起訴されてですね、中国に送られる可能性もゼロではない、非常に心配です。」

この特集に当てられた時間は 1361 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】東京五輪 1 年延期の影に選手村の問題が……：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「さて次の特集です。この夏、開催予定だった東京オリンピック、パラリンピックが、一年延期になったことで、さまざまな影響が出ています。選手村跡マンションとして企画された晴海フラッグをめぐる問題をしゅざいしました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したよう特集の VTR が取り上げられていた。

ナレ「この夏、開催される予定だった東京オリンピック、パラリンピック。今年 3 月、新型コロナウイルスの世界的流行により、1 年延期が決まった。」

大会組織委員会森喜朗会長「今年、まあ、できない、かったということについては、大変申し訳ないというか、残念な事だと思います。」

ナレ「選手村として、使われる予定の新築マンションも、中に人の姿はない。大会後、入居予定の人は、」

男性「未来ってのが、ちょっとなかなか思い描けなくなってきたなあっていうのは、あります。」

ナレ「実はこの土地の売却をめぐり、住民が東京都を訴えている。」

原告の男性「百万もする土地を、誰が 10 万円くらいで手放しますかと。ところが東京都はこれを平気でやったんですね。」

ナレ「オリンピック延期の陰で揺れる選手村問題を取材した。」

男性「街並みがもう、全体的に整っているということがあるので、そういうところでやっぱ、魅力ですね。新しい街っていうか、」

ナレ「立ち並ぶ新築マンション。男性は 3 年後の 2023 年に、ここに入居する予定だったが、今、先が見えない状況になっている。」

膳場「改めてどうですか、この、完成しているこの、マンションを見て、」

入居予定者「まあちょっと人生のライフプランが、ちょっとくるちゃったなあっていう、そういうような思いはありますね、」

ナレ「ここは東京湾に面する中央区、晴海の広大な敷地に建設された東京オリンピック・パラリンピックの選手村。現在内装は、選手村仕様となっている。大会後には、分譲・賃貸マンションに改修され、1 万 2 0 0 0 人が暮らす街に生まれ変わるはずだった。町の名前は、**HARUMI FLAG** だ。敷地内には、マンションや商業施設を含めた 2 4 棟が建設され、小中学校や、保育施設も新設される。マンション最大の売りは、眺望。」

担当者「実際のお部屋からの眺望を、リアルに再現したものでございます。」

ナレ「レインボーブリッジの夜景を堪能でき、都心方面を望むことができる部屋も。現在公表されているのは、2 LDK から、4 LDK までの分譲マンション。価格は 4 9 0 0 万円台から、2 億 2 9 0 0 万円台だ。およそ 5 6 0 0 戸のうち、9 4 0 戸が、すでに販売され、契約済みだという。妻と、1 歳の娘の三人で暮らす家を購入した男性は、その価格に惹かれ、契約したと話す。」

男性「私が購入したのはですね、7 5 m<sup>2</sup>の 3 LDK で、だいたい 5 0 0 0 万円台の、後半。もう 6 0 0 0 万円までは行かないんだけど、値段もここら辺の周辺のマンションに比べると、やはり 1 割 2 割安っていうのは一番の魅力でした。」

ナレ「選手村のレガシーに住むことを楽しみにしていたが、今年 3 月、新型コロナウイルスの感染が世界に拡大する中、東京オリンピックパラリンピックの 1 年延期が決定した。しかし、売り主から届いた手紙には、『引渡予定日を含め、ご購入者様にご案内している内容に、変更が生じる可能性がある』と書かれているだけで、詳細が決まるまで時間を要するという事だった。さらに、4 月、緊急事態宣言が出されてからは、」

手紙「2 0 2 0 年 4 月 8 日より、**HARUMI FLAG** では、お電話のお問い合わせ対応など、パビリオンでの業務を、休止させていただくことと、致しました。」

男性「手付金が返されるかどうかも分からなかったでした。」

膳場「そうですね。」

男性「ほとんど強制的にもう、何年か待たなきゃいけないのかなっていう、ような、まあ眠れない日々じゃないですけど、心配な日々が、続きました。」

ナレ「そして 6 月、正式に入居時期が遅れるという通知が来た。」

通知「2 0 2 1 年に選手村として利用されますと、ご契約時に案内していた引き渡し予定日が、1 年程度変更す



ることになります。」 "

ナレ「提示された選択肢は、契約を解除し、手付金を返金してもらうか、契約を継続し、延期を受け入れるかだ。契約を継続した場合の、1年程度の延期について、正式な時期に関する具体的な説明はなかった。男性は、説明会を開いてほしいと要望したが、対応してもらえなかったという。」

"膳場「その経緯をちゃんとかう、誠意をもって説明してほしい？」

男性「そういうことですね。はい。」

膳場「ですよ。」

男性「もともと契約するときにも、かなり足を運んで、この分厚い契約書とかね、重要事項説明書とかの話を、ずっーと延々と話していましたので、やめるときだけですね、その、手紙1枚です、やめられますよって言われても、ちょっとまあ我々としても、納得がいかないってうか。もうちょっといろいろと話すことがここにはあるのかなって言う風に考えています。」 "

ナレ「入居の延期が、建物の資産価値にどれだけの影響を及ぼすのか。また住宅ローンの金利の問題や、娘が保育園に入園するタイミングにもかかわるため、契約を継続するかどうか、まだ決断できずにいるという。そしてこの土地を巡っては、さらに深刻な問題が起きていた。」

(CM)

ナレ「今週火曜日、東京地裁の前でビラを配る人たちの姿があった。」

男性「ディベロッパーにそんなに土地を安く売る余裕があるんだったら、都民のためにつかって欲しい。」

"ナレ「この日、口頭弁論が開かれた。原告は都民33人。東京都を相手に裁判を起している。選手村の土地の売却価格が不当に安いとして、適正価格との差額分を、ディベロッパーなどに、返還させるよう、求めている。」

原告 矢野政昭さん「安い価格で売ったってんのは、とんでもない。これにはからくりがあるはずだと、調べてみたら、いっぱいあるんですよ。」

原告団長 中野幸則さん「不当で価格で、売却したものは、正当な価格にきっちりただしてほしい。」

ナレ「原告の中には、5人、東京都の元職員もいる。東京湾や、臨海部を管理する港湾部に勤めていた人たちだ。原告団の事務局長を勤める、市川隆夫さんは、」

原告団 市川隆夫事務局長「仕事をしてきた職場、あるいは関わってきた臨海地域。なんとしてもやっぱり、そういう臨海部をね、一部の大手企業、力の強い者の、利潤追求、食いものにさせたくないという思いが強いんですよ。どう考えてもおかしいんじゃないかと、いうのがあれですよ。OBとしての思いも」 "

ナレ「選手村の土地をめぐる、一体何が起きているのか。そもそもこの土地には、東京国際見本市会場があったが、1996年に閉鎖して以降は、20年近く更地だった。都心に近い場所だが、最寄り駅まではおよそ20分かかかる。その晴海に、東京オリンピックの選手村を建設することが決まり、2014年、大会後のモデルプランが公表された。」 "

舩添要一都知事（当時）「誰もが憧れ、住んでみたいと思えるような街を実現したい、いきたいと、考えております。」

ナレ「2016年、東京都の小池知事は、三井不動産などのディベロッパーグループに、13.4ヘクタールの公有地を129億6000万円で売却する契約を結んだ。競争相手はいなかったため、都が公募の際に示した最低価格での契約だった。原告が問題にしているのは、近隣の土地価格との差だ。東京都が売却した土地は、1㎡に換算すると、およそ9万6000円だが、当時の地価を見ると、隣の晴海5丁目の土地が、89万5000円、晴海3丁目の土地が、132万円。また2012年に近隣で公有地を売却した際の価格も、103万円だった。こうした近隣の土地取引と比較するなどして算出する鑑定方法は、取引事例比較法という。原告はこの取引事例

比較法を使って、価格を出すべきだと主張している。」

原告の男性「普通に考えれば、100万もする土地を、誰が10万円くらいで手放しますかと、ところが東京都はこれを平気でやったんですね。」

原告 勝俣秀一さん「東京都内では、檜原、三多摩の檜原村、あそこまで行かないと、9万円という土地はありませんって言う風に思います。」

ナレ「原告は、129億円という土地の価格以外にも、東京都がディベロッパーを優遇していると憤る。東京都は、この土地を売却するにあたって、道路などの都市基盤整備費として、およそ540億円。選手村として使用するための内装工事費と解体費として、およそ445億円。また大会期間中に建物を借りる賃料として、ディベロッパーに41億8000万円、1000億円を超える費用は、全て東京都の負担だ。さらに延期に伴う追加の賃料についても、負担をどうするか、協議中だという。」

原告 勝俣秀一さん「道路を作り、で一あの、下水を整備し、ものすごいお金かけて、それで全部整地して、できて、はい129億ですって、そんな馬鹿な話はないわな。絶対変だよ、それ。ね。至れり尽くせりだよね。」

"ナレ「では、土地の価格はどのようにして決まったのか。東京都は土地の評価を、日本不動産研究所に依頼した。複数ある鑑定的手法の中で、取引事例比較法ではなく、開発法という手法を使って、価格を算出している。開発法の考え方は、収益から費用を引いた額を、土地の価格とする方法。分譲価格などの収益が下がると、土地の価格が下がる。建設費などの費用が高くなると、さらに土地の価格が安くなる。都は、この開発法を採用した理由を、『選手村要因』と説明している。」

書類「選手村仕様のため、共用廊下幅が広く、一般的な分譲マンションと比較して、有効率が低下する。」

書類「エレベーター等の共用設備が、過剰に設置されている棟がある。」

ナレ「有効率の低下によって、収益が下がり、エレベーターの過剰設置によって費用が上がるため、土地の価格が下がるというのだ。しかし今回、そのぞれの要因の価格への影響は、価格の上昇、下降を示す矢印の向きで示されてものの、具体的な数値は書かれていない。不動産鑑定士の河野栄一氏は、開発法を使った鑑定内容に、不自然な点は見当たらないとしたうえで、こう指摘する。」

よつば鑑定 河野栄一不動産鑑定士「やはり不動産の価値は、多面的に見ることで、複数の手法を使うことで、ひとつの手法が正しいかどうかを検証することができるんですね。したがって開発法が中心となるということは、良いと思います。ただその開発法の結果が、適正であるかを検証するために取引事例比較法を適用すべきだったんですね。」

"ナレ「国交省も取材に対し、『国交省が定めた不動産鑑定評価基準の趣旨では、開発法は、近隣地域の取引事例の比較などに加えて、鑑定の精度を高めるために使う手法である』としている。また、河野氏は、不動産鑑定において、価格に影響する数値を決めるのは、鑑定士の裁量であるという。」

河野鑑定士「各手法で採用する数値というのは、すべて鑑定士の判断で決めることができます。そしてそれが、何が、いくら、下がるのかというのは、格別どこにも出てきませんし、出てこないのが普通です。」

膳場「依頼主の意向によってこう、鑑定の結果を上げたり、下げたり、っていうこともあるんですか？」

河野鑑定士「理屈上は可能です。ただしそれを現実にやっているかどうかは、担当した鑑定士にしか、分かりません。」

ナレ「日本不動産研究所は、なぜ開発法だけを使って価格を出したのか。取材に対し、東京都は、『本件土地は、広大な土地であることに加え、選手村という、極めて特殊な利用制限が課せられた土地であり、取引事例は、他に例がなく、また、当該利用制限の課せられていない土地の取引事例から、定性的に要因比較を行うことができないと不動産鑑定士が判断しています。』さらに原告が問題にしていることがある。土地の価格を、都議会を通さ

ずに決定したことだ。」

"ナレ「原告代理人の、淵脇みどり弁護士は」

淵脇弁護士「地方自治法とか、地方自治に関する法令に違反していると思います。」 "

ナレ「地方自治法は、公有財産を処分する場合、条例または、議会の議決による場合でなければ、適正な対価なくしてこれを譲渡し、若しくは貸し付けてはならないとしている。」

淵脇弁護士「適正な対価でない価格で売する場合、については、これは議会で議論しなきゃいけない。議会でちゃんと審議ををして、そのあたりがクリアになれば、じゃ、これで売りましょうってことになるわけですね。その手続きが一切されてないってことです。」

ナレ「地方自治法の適用を免れ、スピード売却を実現できた裏にはからくりがあるという。東京都はこの土地を、都市再開発法に基づく、市街地再開発事業と定め、地権者、施行者、認可権者の3役を、全て東京都が単独で担ったというのだ。通常、施行者が、地方公共団体の場合、認可は国土交通大臣によって、行われる。しかし、今回は、地方公共団体としてではなく、東京都が個人として、施行者になっているのだ。そのため認可は、東京都知事によって行われた。さらに地権者も、東京都単独であったため、都だけがどういすればよいという形で進められた。」

"淵脇弁護士「東京都が個人施行としての、再開発事業。これはやっぱり、明らかにおかしい。他社のチェックを受けることなく、全て秘匿したまま、手続きを進めてしまったと、いうことが、問題。あまりにも安すぎる価格を、都民に説明しないで、進めてしまうために、この再開発制度を、乱用したというのが、私たち原告の主張です。」 "

ナレ「1人3役の自作自演、だという原告の批判に対し、東京都は・・・」

"東京都「認可権者としての東京都知事と、再開発事業を施行する施行者としての東京都知事は、異なる権能を有する。」

ナレ「として、適正であると主張した。この問題について小池知事は、」

記者「選手村の土地に関しては、ご存知の通り、訴訟が起こされているわけですが、売却価格に関しては、知事として適正だとお考えなのかどうかってのは、改めてお伺いしたいなと思います。」 "

小池都知事「あのーこれまでも、不動産鑑定基準など、定められた基準に基づいて、適正な算定の上で、決定をしたもので、ございます。」

ナレ「再開発事業を決めた当時の知事の舛添要一氏は取材に対し、」

舛添要一氏（ナレ）「本件につきましては、裁判中の為、コメントは差し控えます。」

"ナレ「また、三井不動産などのディベロッパーは、『土地取得の経緯について、個別の契約内容にかかわるので、回答は控えさせていただきます』とした。今週、東京地裁で行われた高等弁論。原告は小池知事と、舛添前知事の証人尋問を求めた。一方、東京都は改めて、『都市再開発法では、地方公共団体が、『個人』として、再開発を施行することは、法律違反ではない。国交省も、このことを、法律上除外していないと明言している。』と主張した」 "

原告団長 中野幸則さん「こんなことを、じゃあ、どこの自治体でもやっていいんだということになれば、もう地方自治法の主旨そのものが、もう変質化しちゃうと。悪い例として、残したくない。だから正せるものは、きちっと今のうちに、正していきたいなと。」

特集のVTRを受けて以下に朱記したようなやり取りが繰り返り広げられていた。

日下部「本来なら、8月25日に、パラリンピックが開幕して、今ごろ選手村は、入村式なんかでにぎわってたはずですよ。」

膳場「そうですね。それが、実際には、感染したマンションは、厳重に管理されていて、立ち入り禁止。ゴーストタウンになってしまいました。来年オリンピックが開催できたとしても、この5600戸が、空室として、1年間管理するための、維持費というものが生じますし、あと、物件の資産価値も変わって来てしまうんじゃないかという懸念もあります。で、HARUMI FLAGのこうじゅん購入者には、ファミリー層も多いのでね、敷地内にあたらしくできる学校の、この入学のタイミングに合わせてるという方も多く、いらして、まあこのまま契約を継続するか、それとも、解約するか、その判断材料として、少なくとも入居が可能となる時期を明確にしてほしいという要望が強く、出ていました。」

日下部「あの、率直に言って、地価って一体なんなんだろうと思いましたね。不動産を買うっていうのは、一般の人たちにとっては、それこそ、一世一代の買い物なわけね、地価というのは非常に、重要な判断基準なのに、そういった地価を無視するかのようですね、しかも素人が分かりにくい業界に内部の基準でこう、決めていくっていうのは、納得がいかないですね。」

金平「うーん、あの共同通信のね、最新の世論調査では、オリンピックを再延期すべきだというひとと、中止すべきだという人を合わせると、70.1%に達しちゃうんですね。もしね、来年オリンピックが中止になったら、あの選手村の再開発地域っていうのは、一体どうなるんだろうなという思いで、見てましたですけど、」

金平「それとね、そもそもね、今、この酷暑の中で、もしかしたら行われてたかもしれないんですけど、これ、オリンピックって本当に招致すべきだったのかなっていう根源的な議論っていうのは、今こういうことになったからといって、いまこそちゃんと僕らが考えるべきなんじゃないかなって、そういうきっかけをあたえるような事例だって言うふうに僕はおもいましたですけどね。」

この特集に当てられた時間は1542秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・オープニング

金平キャスターの「アメリカの大統領選挙が本格化しています。トランプ、バイデン両候補が思う存分お互いを批判しあっています。それを見ている国民の投票次第でチェンジが齎される。一強多弱の日本の政治ではお目にかかれない光景です。安倍政権、明後日、単独政権での連続在任期間を更新します。」

・【特集】国安法施行で揺れる香港の今

スタジオで金平キャスターが「見ててね、これはあの他所の国の他人事ではないな、と、まあ要するに僕ら日本のメディアにも突き付けられている問題だな、というふうに思いましたですね、風刺の力、デイリー、アップルデイリーが持っているものはすごいですよね、今年はね、奇しくも戦後75年で、75年前っていうのは香港は日本の軍部の占領下にあったわけですよね、で当時、日本軍によって香港の言論活動というのは厳しくまあ検閲統制されていたわけで、それと同じようなことを今、北京政府が香港のメディアに対してやっているっていうのはいかにも歴史の皮肉ということをですね、感じましたですね。」とコメントしていたが、後半の歴史の皮肉云々は金平氏の感傷なんだろうが、前半部分の「これはあの他所の国の他人事ではないな、と、まあ要するに僕ら日本のメディアにも突き付けられている問題だな、というふうに思いましたですね」というコメントは流石にアップルデイリーに対して失礼ではなからうか。

アップルデイリーは香港の治安当局からの弾圧を受けている、他方で金平氏が「報道局記者、キャスター、ディレクター」として籍を置く TBS は政府による電波の割当および放送業界への参入規制によって、新規参入者の競合から守られ、政府公認の寡占というぬるま湯の中で企業活動を営んでいる。

かたや公権力から弾圧され、かたや公権力により特権を付与されその元で高い収入を期待できるという状況である。そうした既得権益者が香港の状況を見て「あの他所の国の他人事ではないな、と、まあ要するに僕ら日本のメディアにも突き付けられている問題」というのは呆れてしまった。